

においがわからない時

鼻の上方の粘膜に、においを感じる細胞があります。においの経路のどこかに異常が生じるとにおいがわからなくなります。

アレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎などが全体の60%をしめます。

炎症によって鼻の粘膜が腫れ、においのもとが、においを感じる細胞まで到達しない場合と、長期間の炎症のために、においを感じる細胞の機能が低下している場合があります。

治療には、ステロイドの点鼻が基本になります。別の説明書があります。点鼻治療で十分な改善が得られない場合は手術を考慮する場合があります。

脳神経の障害、加齢が原因のこともあります。この場合は、残念ながら有効な治療はありません。

においがわからなくなると、ガス漏れ、火事に気がつくのが遅れたり、食べ物が腐っているのに気がつかないことがあります。

食べ物の風味が分らないと、料理を上手に作れなくなり、花や香水の香りを楽しむことが出来ず、生活のうるおいがなくなってしまうです。ともかく、早期のうちに耳鼻科的な治療をすることが大切です。

矢野耳鼻咽喉科	藤沢市善行 1-25-11	8 1	3 5 4 1
医学博士	日本耳鼻咽喉科学会専門医	矢野	潮
	日本耳鼻咽喉科学会専門医	矢野	ゆかり
	日本耳鼻咽喉科学会専門医	矢野	さゆり